



子育て通信 かなりや

発行 第357号 2025. 8. 1.

時津町子育て支援センター『こばとの家』
長崎県西彼杵郡時津町西時津郷 1000-10

支援センター TEL095-882-7455

こども園 TEL095-882-4559

FAX095-882-4901

ホームページ

<https://www.togitsukobato.jp>

～ ゆらゆら揺れる玩具、おもしろいね ～



～ こどもたちに人気のボールプール ～



『戦争の現実』

認定こども園こばとこども園

園長 嘉村 望

平和に暮らしていた人たちが、
突然、住む場所を奪われる。
無抵抗の人が殺され、
幸せな家族が引き裂かれる。

そんな現実を直視すれば、
どんな大義名分も、
それを正当化できないと気づくでしょう。
戦争の現実が、
すべての人に知られますように。

著：悲しみの向こう
～希望の扉を開く言葉 366～
片柳 弘史 神父

長崎に原子爆弾プルトニウム型の「ファットマン」が投下されて80年。

原爆が投下された8月9日には「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」が行われます。原爆・戦争を知る被爆者の平均年齢は85歳を超え、被爆体験の継承が課題となっています。約70年にも及ぶ平和活動が評価され、被爆者の立場から核兵器廃絶などを訴え続けてきた日本原水爆被害者団体協議会が2024年10月にノーベル平和賞を授与されました。

ロシア・ウクライナや中東・パレスチナのガザ地区では今なお紛争が起きています。武器や武力によらない対話による和解や外交が大切だと思います。

被爆80年時津町平和推進事業で8月6日ピースバトン長崎の方をこばとこども園へお迎えして、平和教育をしていただきます。

私たち一人ひとりが平和について考え、一人の力は小さくとも自分たちにできることや子どもたちに伝えられることを一つ一つ大切に続けていきたいと思っています。

『 夏の肌トラブル 』

夏は子どもたちが元気よく活動する季節です。汗をかく量が増えたり、発疹が現れる感染症が流行りやすかったりと、皮膚トラブルが起こりやすくなります。夏に子どもに起きやすい皮膚トラブルを紹介したいと思います。



①虫さされ

虫にさされたら、流水と石けんでよく洗いましょう。かゆそうな時は冷やすとかゆみが和らぎます。さされた虫の種類にもよりますが熱が出たり、ひどく腫れてしまった時は早めに病院を受診しましょう。

②汗疹

汗の出口が汚れや垢でふさがれて炎症が起こったものをいいます。あまりにもかゆがったり、かきむしったりして傷になった場合は病院を受診しましょう。日頃から汗を流し、清潔にしておくことが大切です。

③とびひ

虫さされや傷に菌が入り込み、水膨れができます。水膨れをかいた手で他の場所をかくと「とびひ」します。自分へもうつりますが、他の人にもうつる伝染力が高い皮膚炎です。お医者さんから塗り薬をもらい、早めに治しましょう。

④乾燥肌

汗をかきやすい夏だから、乾燥はしないだろう！と思う人も多いと思いますが、実は夏は乾燥肌になりやすいんです！特に、幼児～学童期は皮脂の分泌量が少ないこともあり、なおさら乾燥しやすい状態です。夏もこまめな保湿は欠かさずしましょう。乾燥すると、かゆくなる→かきむしる→傷になる→とびひする、というループになる場合もあるので、念入りの保湿は季節問わず重要です！



⑤水いぼ

7歳以下の子どもに多く見られる皮膚の感染症です。皮膚に小さな丸いぼ（1～5mm程度）ができるウイルス性の皮膚感染症で、かゆみや痛みはほとんどありません。いずれは自然治癒することが多いですが、治る前に数が増えるほか、感染力が強いため他の人にうつることもあるので、気づいたら早めに病院を受診しましょう。

肌トラブルがあると、かゆがったり、痛がったり、水遊びを控えなければならなかったり…それを見ている親も辛いですね。子どもはかゆい時にかかずにがまんするというのが難しく、ついついかきむしってしまうものです。なるべく早めに病院を受診して、傷をつくらないようにすると、いつでも綺麗な肌を保つことができます。

日々少しずつ気にかけてあげながら、夏の楽しい行事を思いっきり楽しみましょうね！

水遊び

暑い日が続いていますね。支援センターでは例年より早く、水遊びを行いました。日陰の涼しい場所で、タライやビニールプールに水をためて、手で水を触ってみたり、ちゃぷんちゃぷん入ってみたり…ひんやり心地よい水の感触を楽しみながら遊びました。



自宅で水遊びをするときは…

- 必ず大人が付き添い、目を離さない
- 少し早めに水をためて水温調節する
- 20分に1回は休憩する
- こまめな水分補給をする
- 熱中症・日焼け対策をする
- 水遊びのあとは、ゆっくり休む

水遊びのいいところ

- 水の冷たさや、水が流れる感触、水しぶきなど様々な感覚を肌で感じる
- 水の音や動きを自由に楽しむことで、好奇心が育まれる
- 水の中で手足を動かし、バランス感覚や運動感覚を向上させる 等



暑いなかで気をつけなければならないことがたくさんありますが、しっかり対策を行い、水遊びを楽しみましょう♪